

創造的復興に向けた 未来都市のあり方

3月11日の大震災は私たちにさまざまな面から、新たな環境施策を含む安全安心な社会づくりの重要性を明らかにしました。

全国の80あまりの国立大学附置研究所およびセンター群は、各大学における特色ある研究機関としてそれぞれの研究の最先端で活動しています。

今こそ、その研究開発の力を市民の皆さんに示し、新たな街づくりに際して私たちに何ができるか提案していくことが、極めて重要であると考えます。

そこで、テーマを「創造的復興に向けた未来都市のあり方」に絞って、全部会合同の特別シンポジウムを開催することにいたしました。

日時

平成24年 **2月10日(金)**
13:00~17:00

会場

ウェスティンホテル仙台 2F グランドボールルーム 竹
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-9-1 TEL: 022-722-1234

主催

国立大学附置研究所・センター長会議

プログラム

- 12:30~ 受付
- 13:00~13:10 開会挨拶 国立大学附置研究所・センター長会議 会長 中沢 正隆
東北大学電気通信研究所 所長

第1部
(理工学系)

- 1 13:10~13:45 「大震災後におけるエネルギー選択とエネルギー研究者に求められること」
京都大学エネルギー理工学研究所 所長 尾形 幸生
- 2 13:45~14:20 「安全・安心な核融合エネルギーの開発」
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 小川 雄一

第2部
(医学・生物学系)

- 1 14:20~14:55 「ヒロシマから学ぶ放射線の人体影響と福島原子力災害の復興支援」
広島大学原爆放射線医科学研究所 所長 神谷 研二
- 14:55~15:15 休憩
- 2 15:15~15:50 「国際沿岸海洋研究センターの復興と地域の再生」
東京大学大気海洋研究所 教授 大竹 二雄

第3部
(人文・社会科学系)

- 1 15:50~16:25 「歴史資料のレスキューと東北大学の取り組み」
東北大学東北アジア研究センター 教授 平川 新
- 2 16:25~17:00 「大震災に対して社会科学系の研究所ができること」
東京大学社会科学研究所 所長 末廣 昭 / 東京大学社会科学研究所 准教授 佐藤 慶一

- 17:00 閉会

【ご参加について】

ご参加には事前の申し込みが必要です。定員 250 名、先着順となります。
参加をご希望のかたは、メールまたは FAX、郵送にて「特別シンポジウム参加申し込み」と明記し、
氏名（ふりがな）、職業、電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご連絡いただいた個人情報は、シンポジウムの申し込み状況の把握、参加の確認以外に使用することはありません。

URL : <http://www.shochou-kaigi.org/>

お問い合わせ・参加お申し込み先

東北大学電気通信研究所庶務係

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1

TEL : 022-217-5420 FAX : 022-217-5426

E-Mail : shomu@riec.tohoku.ac.jp